

# 職場探訪

## 三国競艇従業員労組

### 組合結成してから47年の歴史 今年6月に自治労に加盟



三国競艇労組 三役の皆さん

◎三国競艇従業員労組の歴史や皆さんのお仕事を教えてください。

歴史は古く、1969年設立で47年になります。組合員は現在94名、女性が91人で男性は3人です。男性職員は、管理や整備の係として救助艇に乗る人や無料バスの担当をしています。

昔は多くの組合員がいましたが、定年退職の不補充が20年余り続き減っていくばかりです。

今の94人でも、まだ多すぎると言われています。組合員の減少は残念ですが、機械化も進んでいる状況で業務自体は何とかなっている状況です。

業務内容は、窓口での舟券の発売、入場口での案内関係、指令というパソコン関係の業務、売上集計、番組（新聞）など、いろんな仕事があります。

勤務時間はいろいろで、8時間労働、6.5時間労働と4時間労働のおおまかに3つです。勤務日数は、基本は180日ですが、今年は188日です。それ以外に外向き業務として、ナイターとかデイアボートというのもあって200日は超えています。

◎どうして自治労に加盟されたのですか。

自治労には、今年の6月に加盟しました。数年前にあわらで全国競争労組（全競労）の大会があったときに、自治労中央本部の役員さんに来ていただいた際、本加盟ではなく、友好加盟という形になっていると聞きました。ですが、その後、全競労の新聞等も来なくなるなど加盟の実態が無い状態でした。

そんな中で、坂井市議の辻人志



さんから、「全競労や自治労のこの宙に浮いている状態なら一度話を聞いてみたらどうか」と言ってもらい、自治労の中央本部の方に来ていただき詳しい話をしました。そして、自治労の本加盟へ向けた話をしてもらえないかという話になりました。

そこから、組合員にアンケートを行いました。アンケートでは、いろいろな意見があったのですが、過半数以上が自治労に加盟した方がいいという結果になりました。その結果に基づいて自治労に加盟することになりました。

◎勤続年数や賃金体系はどのようになっているのですか。

20年あまり採用なしが続いています。1990年採用が多いのですが、その人たちが勤続25年になりますから平均では相当長いです。笑い話ですが、25年働いていても後輩がないので皆さんまだ若手です、ずっと若手が続いています（笑）。

賃金は勤続が長くても上がりません。1日いくらの契約で、月15〜16日くらいの出勤です。売り上げが伸びていないので、賃上げはなかなか望めません。売り上げ減は働いている私たちが一番痛感します。

昔は、すごく売り上げがあったって一日に億単位で売っていましたが、今は1桁違って、何千万ですから

ね。昔は電話投票もなかったの、この三国競艇場で一日に億単位のお金を扱っていたのです。

◎一日の業務は、どのような流れですか。

売り場の場合ですと、10時半まで出勤して、レース毎、発売開始1分前から窓口に着り、レース毎に締め切ると窓口のカーテンを降ろして集計という感じです。集計には集計係もいます。

手売り分のお金はレース毎に都度行きます。機械はずっと動きっぱなしです。手売りの機会は40数台ありますが全てが稼働することはほとんどありません。今日（一般開催）で12〜3台でしょうか。大きいレースや正月開催は、お客さんも多いので数多く窓口を開けます。帰りの時間は、遅くても5時くらいです。それ以降になると時間外がついてしまうので時間外がつかないよう帰ります。



## ◎競艇場として新たな取り組みなどありますか。

とにかく収益を伸ばさないとダメだということで、労働組合としても意見を出しています。例えば、SGに向けての特別観覧席を設置するに当たって、総合払いといういろんな他場の払い戻しができる機械を入れてほしいとか、ポイントカードの改善などです。

ところが、予算が無い中でなかなか難しいと言われてしまうことが多いのが現状です。でも私たちとしての提案などは今後も続けたいと思っています。

また、先日17年ぶりにSGが三國で開催されました（オーシャンカップ）。そのときには、テレビに出たりとか、組合員がみんな協力して、執行部に入っていない人にも参加してもらったりして頑張りました。

**競艇は当てやすいのが魅力  
三國は全国で唯一  
「雪の中を走るボート」  
が美しい**

## ◎競艇の最大の魅力はどこにありますか？

ボートの魅力を一言で表すのは難しいですが、他の公営競技の競

輪や競馬などと比較すると、ボートは素人の方でも勝敗が予測しやすく儲けやすいという印象です。走る舟もそもそも6艇と少ないですしね。

競艇には、「オハヨーレース」や「サンサンレース」といったサービスレースが組まれています。意識的に強豪選手と新人さんでレースを組むので、絶対当たるというわけではないのですが、すごく当てやすくなっています。

例えば、「ガチンコレース」だと、1、2号艇に強豪選手、残りの4艇に若手みたいな感じに組まれています。そうすると、1、2号艇を1、2着の軸にして、3、6号艇に流すと、3連単がほとんど当たるみたいな感じですよ。逆に、強豪選手がこければすごい高配当になります。

テレビCMでは「水上の格闘技」としてスピードや豪快さなどがアピールされています。その他にも皆さんに魅力的だと思っただけのような部分を探さなければと今も模索中です（笑）。

## ◎三國競艇のアピールポイントはなんですか？

選手には不評なのですが、雪の中での開催ですかね。雪の中、真っ白な外を走る姿は映えますね。全国でも三國競艇だけで見られる風景です。

あと、福井出身の選手で、松田祐季という今年のヤングダービー（G1）を勝った期待の若手がいいます。地元の有力量選手がいると全然違いますし、雑誌にも、「これで三國は復活できるか」なんて書かれて、頑張ってもらいたいです。かわいいし（笑）。

もうひとつ、おもてなしの心とおばちゃん？の笑顔ですね（笑）。

## 自治労加盟で全国との連帯や情報に期待

## ◎労働組合としての要求や、今後の活動について聞かせてください。

組合員の要求は執行委員会を持ち寄って議論しています。組合員も、しっかりした人が多くて、いろんな提案をしてくれるので、それを持ち寄ってまた執行部で話をしてという形です。

書面での要求書は、勤務時間や勤務日数については出したことがあるのですが、賃金の要求は、今まで出してきませんでした。ですが、SGレースの開催に併せて今年初めて賃金に対する要求書を出しました。交渉はいつも4月に1回持っています。

先日、常滑競艇場の視察に行ったのですが、組合員にすごく好評



で、自治労に加盟したこともあって、他の競艇場への視察や、意見交換の機会ができることを期待しています。先ほど話にあったSGでの手当も、そこで聞いてきて勝ち取れたのです。

これからは、全国との交流、組合の運営、職場と仕事の改善、自治研活動なども含めて自治労の方にもいろいろ情報をもらって活動したいと思っています。

（編集部 伊藤 出蔵）